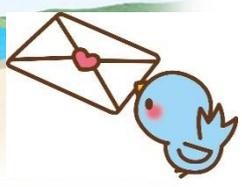




山口大学

学生特別支援室だより

News Letter

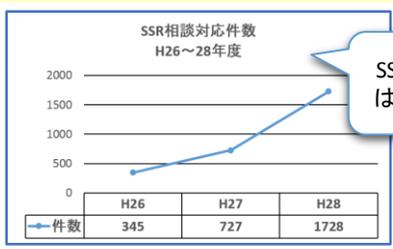


学生特別支援室の現状と新たな取り組み

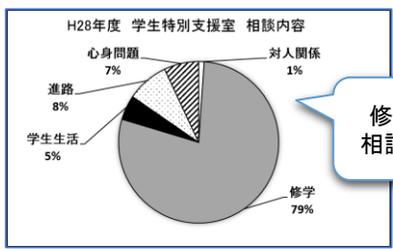
学生特別支援室（SSR:Student special Support Room）は、平成26年6月に設置された、障害等により修学に困難のある学生の学内修学支援拠点です。障害等のある学生や、支援に関わる教職員、保護者などからの寄せられる相談は年々増加の傾向にあり、学部・保健管理センター・学生相談所・就職支援室・学生支援部などの関連部局と連携して対応しています。

SSRが設置されてからこれまで、学内規則等の策定や障害学生連絡会の設置支援体制の整備、障害のある学生が大学に対して修学支援を申請する制度の整備、全学でのFD研修会や支援スキル研修会の開催など育成・研修に関わる取り組みなどを行ってきました。平成29年度以降は、障害等のある学生の修学支援をベースに、以下の事業に取り組んでいきます。

- 修学から就労への円滑な移行に関する支援事業
- 授業の開講やさらなる資格取得を盛り込んだ支援人材育成
- キャンパス間の連携体制拡充…等



SSRの相談件数は、毎年増加！



修学に関する相談が8割程度

SSR設置2周年を迎えて～室長インタビュー～

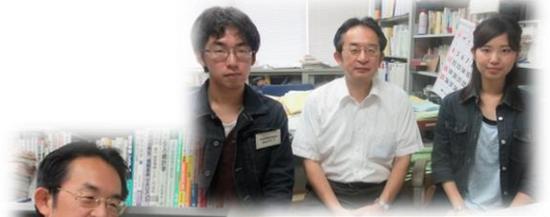
学生特別支援室は、平成29年6月で設置2周年を迎えました。学内での障害等のある学生の支援体制整備が進むなか、学生特別支援室はどのような役割を担っていくのか、学生スタッフが小川室長にインタビューしました。

◎ SSRが設置2周年を迎えての展望

運営面においては、支援を安定的に行うための財政基盤を安定させること、活動面においては、急増している支援希望者にどのような支援対応をしていくのかが課題です。SSRスタッフや関係教職員等と連携・協力しながら解決を目指していきます。

現在、計画が進行中のものとしては、宇部地区のSSR分室設置、支援対象となる学生の就職支援・就労移行支援のためのプログラム開発の2つがあります。

また、将来的には、大学間での支援に関わる資源・ノウハウの共有や、遠隔ノートテイク等における人材の共有を行っていきたいと考えています。これらを通して学内外の支援をより充実させていくことが狙いです。



平成29年度SSR室長 小川 勤先生

◎ 先生の考える山口大学支援環境の理想像

障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすい、勉強しやすい環境を作ることが理想です。

山大的学生には、障害の有無に関わらず皆が社会の中で生活していくというユニバーサルな思想を、社会に出るまでに理解し、意識を持ってもらいたいと考えています。

今年度から共通教育科目にSSRが担当する授業※が開講されるので、興味のある人はぜひ参加して「アクセシビリティリーダー」資格※を取って社会に貢献してほしいです。具体的には、支援を希望する障害者と企業の仲介役になるような人材を山大から輩出したいと考えています。これは山大だけでなく、日本社会全体のアクセシビリティの推進のための一歩だと考えています。

SSR学生スタッフには、支援スキルの向上はもちろん、支援環境の調査をしていって欲しいです。その調査結果を発信し、障害学生が修学や生活しやすい大学の基礎的環境整備につなげてほしいと思います。

※SSRが担当する授業および「アクセシビリティリーダー育成プログラム」については次項を参照ください

バリアフリー調査報告

SSRでは、学生スタッフが中心となり、学内のさまざまな施設や設備の利用しやすさ・安全性の確認といったバリアフリー調査を行っています。今回は「点字ブロック調査」「駐輪場調査」「身障者用駐車場調査」の進捗状況を紹介し、現状をまとめ、紹介することで、より多様な人々が利用しやすいキャンパスの整備につながればと思います。

点字ブロック調査

点字ブロック調査では、二つの目的をもとに調査を進めました。一つは学内にある点字ブロックの位置の確認、もう一つは、点字ブロックの破損状況・使用時の注意点等の確認です。これらを自分たちの目で見て調査し、調査結果をパワーポイントにまとめました。

調査の結果、割れているもの、浮いてがたがたしているもの、点字ブロックのすぐそばに自転車などの障害物がある箇所が、たくさんありました。これらの状況は使用者に不自由な状況をつくりかねません。すべてをすぐに改善することは難しくても、少しの工夫で利用しやすくなる箇所もあります。特に自転車の駐輪マナーを守るなど、点字ブロックの進路をふさがない心がけで大幅に利用しやすさが改善されます。

日ごろ通る道で改善できそうなところがないか少しずつでも意識を傾けて誰もが利用しやすい路上環境にしていきたいと思います。

(調査期間：H28. 6/30～H29. 2/15)



- ・街灯
- ・車止め
- ・車
- ・自転車
- ・プランター
- …など



報告作成：SSR学生スタッフ

園田・窪田・白石・徳原・松葉

駐輪場調査

駐輪マナーの問題で駐輪場近くの通行が難しいケースがあります。現状を把握すべく、各学部や共通教育棟、図書館等の駐輪状況を、曜日・時間帯を変えて継続的に観察しました。駐輪場ごとにポイントを決めて撮影を行い、場所や時間ごとの混み具合や駐輪状況の良し悪し、天候に伴う自転車の増減を調査しました。

共通教育棟・図書館・食堂ポーノの駐輪場では各学部の駐輪場以上に、点字ブロックの上や駐輪スペース外に駐輪してある自転車が多数見受けられました。例えば視覚に障害のある人にとって、本来何もないはずの場所にある障害物はとても危険なものです。また、スロープ出入り口に自転車を止めると、車椅子等での通行が難しくなります。誰もが使用する場所だからこそ、一人一人が意識をして改善に努めていきましょう。

(調査期間：H28. 6/13～H29. 2/15)



きれいに駐輪されている。



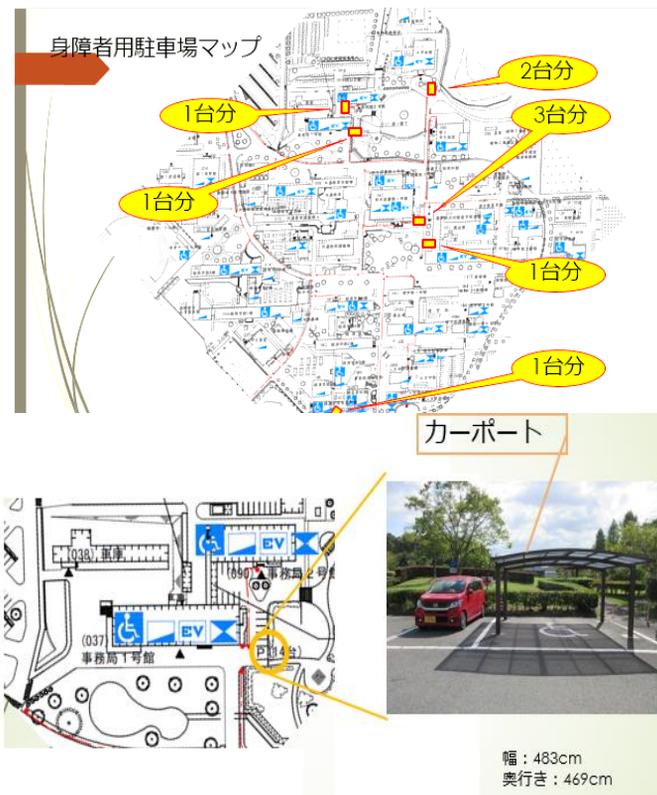
駐輪スペース外に自転車がとめてある。



点字ブロック利用者の妨げになっている。

共通教育棟周辺の駐輪場に屋根が設置されてから、利用状況が変わってきたと予想されます。今後も引き続き経過観察できればと思います。

身障者用駐車場マップ



身障者用駐車場調査

学内の駐車場について、身障者用駐車場の位置や、駐車場の幅・奥行き、カーポートとの距離、利用のしやすさや障害物の有無等を調査し、地図にまとめました。主に、建物入り口へのアクセスの良し悪し・駐車場への出入りのしやすさに注目して調査を行いました。

調査期間現在、山口大学内には、6ヶ所9台分の身障者用駐車場があります。主に図書館や事務局等の施設に設置されています。

調査結果をまとめた身障者用駐車場マップは学生特別支援室HPで公開していますので参考にしてください。

(調査期間：H28. 8/22～9/15)

参考 URL：<http://ssr.ssc.oue.yamaguchi-u.ac.jp/map/>

報告作成：SSR学生スタッフ7

園田・窪田・白石・徳原・松葉

SSRの授業が始まります！



平成29年度より、共通教育に「ユニバーサルデザイン展開科目」が設置されました。学生特別支援室では、新たに3種類(実習・概論・演習)4科目の授業を開講します。平成29年度は集中講義で開講予定です。興味のある方はシラバスをご確認ください。

- 共通教育系列：教養展開
- 分野：ユニバーサルデザイン展開
- 開設科目：ユニバーサルデザイン展開科目

これら授業は「アクセシビリティリーダー育成プログラム」と連動しています！！

ユニバーサルデザイン展開科目	H29	開講日程	概要
アクセシビリティ支援実習Ⅰ	前期集中	2017年9/4(月)～9/6(水)	ノートテイク、ガイドヘルプ、車いす操作、簡単な手話、指文字、点訳、ICT支援技術の活用等が学べます
アクセシビリティ支援実習Ⅱ	後期集中	2018年2/19(月)～2/21(水)	
アクセシビリティ支援概論	後期集中	2018年2/13(火)～2/14(水)	アクセシビリティの基本的な考え方や障害者支援全般について学習する入門的な講義
アクセシビリティ・コーディネート演習	後期集中	2018年2/15(木)～2/16(金)	アクセシビリティ推進のための方法、アクセシビリティ・コーディネート能力、問題解決能力を育む演習

1級アクセシビリティリーダー資格が取れます

山口大学では、オンラインで学習できる2級用のプログラムに加え、本年度からオンラインと授業で1級アクセシビリティリーダーが目指せるプログラムが整備されました。

●教育課程

アクセシビリティリーダー育成プログラムでは、オンラインと授業で学ぶ教育課程を用意しています。

- (1)「オンライン アクセシビリティ講座」導入編 ※ (1)(2)2級取得条件
- (2)「オンライン アクセシビリティ講座」基礎編 ※ (1)～(5)1級取得条件
- (3)ユニバーサルデザイン展開科目「アクセシビリティ支援実習Ⅰ/Ⅱ」
- (4)ユニバーサルデザイン展開科目「アクセシビリティ支援概論」
- (5)ユニバーサルデザイン展開科目「アクセシビリティ・コーディネート演習」

●アクセシビリティリーダー認定試験：平成29年度は、2017年12月9日(土)実施予定

●アクセシビリティリーダーキャンプ(ALC)：リーダー資格を取得した学生を対象とした課題研修合宿

※「オンライン アクセシビリティ講座」の受講を希望する方は、学生特別支援室に来室して手続きをお願いします

※アクセシビリティリーダー育成プログラムの詳細は、学生特別支援室までお問合せください。

H28年度ALC

- ◆ 日時：2017年2月28日～3月3日(東京)
- ◆ 参加者：アクセシビリティリーダー学生18名
(山口大学からの参加学生2名)
- ◆ テーマ：2020年の安心安全とアクセシビリティ
- ◆ 訪問先：セコム、日本マイクロソフト株式会社等

【山口大学からの参加学生の感想】

他大学の学生とのディスカッションや企業の取り組みを見聞きしたことで、自分の持っていなかった考え方に気付くことができ、多様な視点・立場から物事をとらえる重要性を学ぶことができました。キャンプで学んだことを今後の活動に活かし、幅広い視野でアクセシビリティについて考えていきたいと思えます。

◇問い合わせ先

山口大学 学生特別支援室(SSR)

利用時間：10:00～18:00(土日・祝日を除く)

場所：共通教育本館1階 就職支援室横

TEL:083-933-5256

E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp